

特別講演会

2017年1月11日(水) 18:30—20:00

立命館大学衣笠キャンパス敬学館 235 教室

定住性と低密度都市化に関する考察

Thoughts on sedentism and low-density urbanism

ローランド・フレッチャー教授 (オーストラリア・シドニー大学)

Professor Roland Fletcher (Sydney University/Australia)



講師のローランド・フレッチャー教授は、理論考古学およびアンコール遺跡の調査研究を中心に世界各地の集落・都市化に関する理論的研究を行っています。今回の講演では、遊動生活から定住生活へ、集落から都市へ、という壮大な世界各地の歴史事象を分析し、その集落・都市の発達と衰退に関するフレッチャー教授独自の理論的考察の概要をお話させていただきます。氏の代表的著書『集落発展の限界：理論的枠組み』（2007年、ケンブリッジ大学出版会）は、世界各地の集落・都市の居住地の初期構造がその後の集落・都市の発達の方向・性質を規制していくことを理論的に論じています。1万年間以上に及ぶ長期的な集落・都市の変化に関する考古学的考察は現代の都市および都市計画を考える上でも示唆に富むものです。フレッチャー教授の紹介は下記シドニー大学サイトをご覧ください。

<http://sydney.edu.au/arts/staff/profiles/roland.fletcher.php>

* 今回の講演会は、立命館大学大学院文学研究科「考古学・文化遺産専修特殊問題Ⅰ」の補講として実施しますが、学内外問わず、どなたでも聴講可能です。

* 講演は英語で行いますが、簡単な通訳をつけて日本語でも理解できるように配慮します。

* 今回の講演会実施はサイモン・ケイナー氏（英国イースト・アングリア大学教授）のご尽力によるものです。深く感謝いたします。

* 立命館大学衣笠キャンパスへの交通手段は立命館大学 HP でご確認ください。